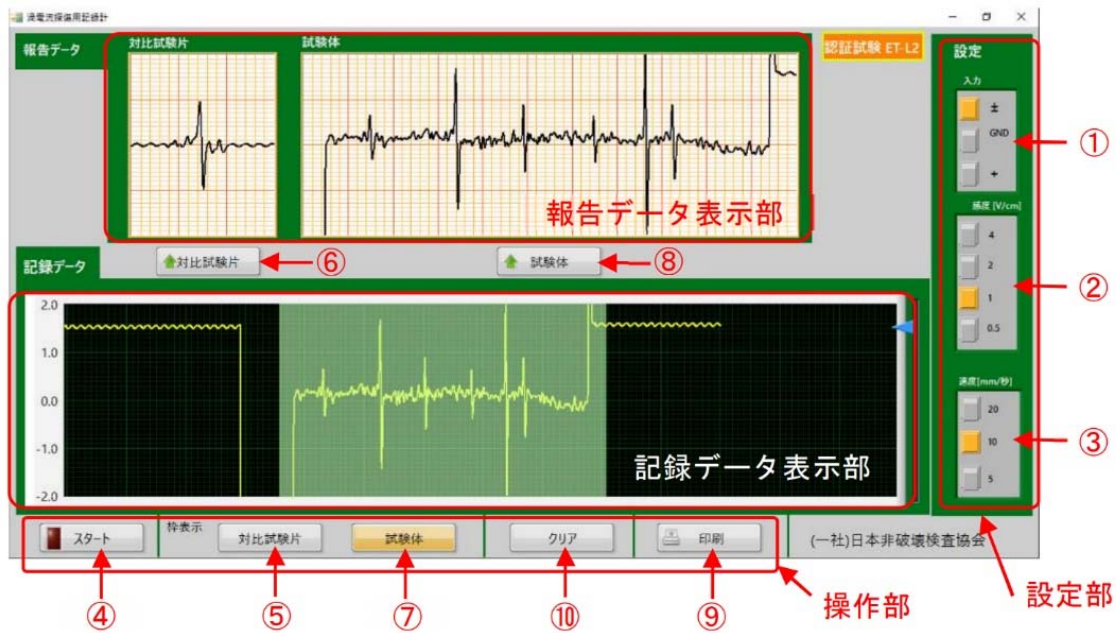


記録計の簡易操作法

2. 操作パネルの説明



- ① 入力信号極性
- ④ 記録開始/停止
- ⑦ 試験体 枠表示
- ⑩ データ消去
- ② 記録感度設定
- ⑤ 対比試験片 枠表示
- ⑧ 試験体 データ転送
- ③ 記録速度設定
- ⑥ 対比試験片 データ転送
- ⑨ 印刷

図 2 画面説明

1. 探傷器の構成

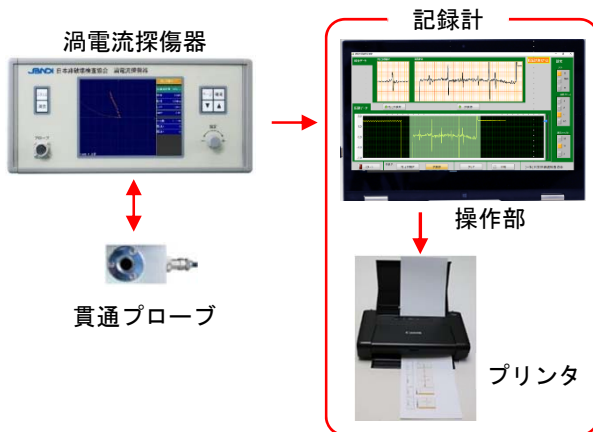


図 1 記録計の構成図

図 1 は記録計の構成を示したものである。貫通プローブと探傷器本体は従来の機器と変わらない。記録計はデータ表示を兼ねたタッチパネル方式による操作部とプリンタにより構成されている。探傷器からの記録計出力信号を入力してパネル面で記録データの表示と報告データの選択ができ、全ての操作はタッチパネルで行う。

3. 記録計の操作手順

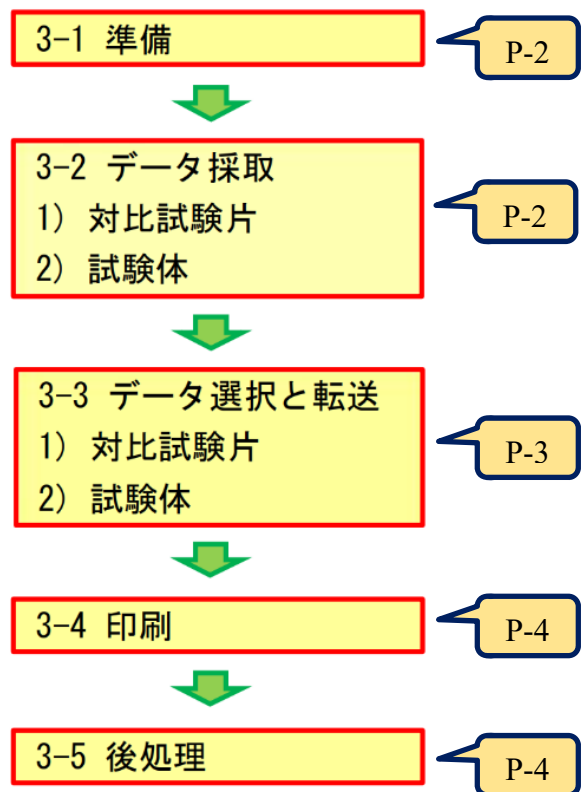
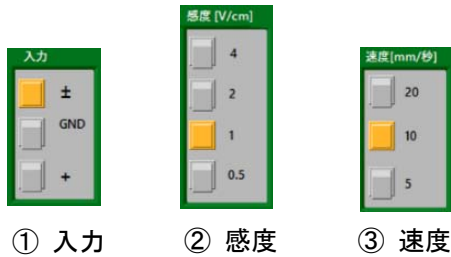


図 3 記録計の操作手順

3. 記録計の操作手順

3-1. 準備



- ① 入力信号極性 : ±
- ② 記録感度設定 : 1 V/cm
- ③ 記録速度 : 10 mm/秒

図 3.1 記録開始の準備

記録計を使用する前の準備として、図 3.1 に示す①，②，③の記録計の条件が指定されている状態に設定されていることを確認し、報告書の試験条件欄に記入する。

3-2. データ採取

1) 対比試験片

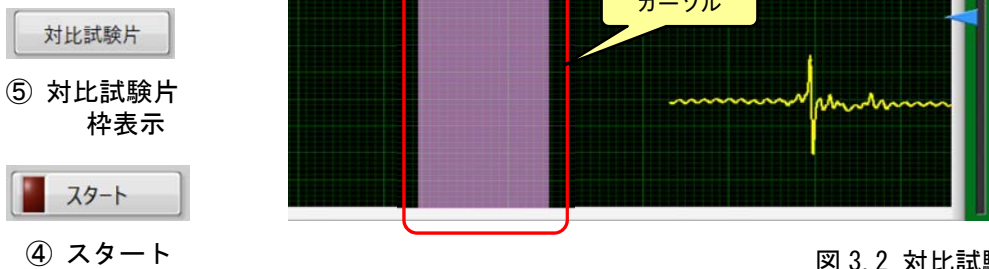


図 3.2 対比試験片のデータ採取例

図 3.2 は、対比試験片のデータ採取例を示したものである。

- i) 「⑤ 対比試験片 枠表示」を押すと記録データ表示部に報告データの枠を示すカーソルが表示され、再度押すと消去される。
- ii) 「④ スタート」を押すと記録が開始され、再度押すと停止する。
なお、最大記録容量は5分であり、5分を経過したデータは消去される。
- iii) 「④ スタート」を押した後、対比試験片をプローブに挿入し探傷波形を採取する。
探傷終了後、「④ ストップ」を押して記録を止める。

2) 試験体

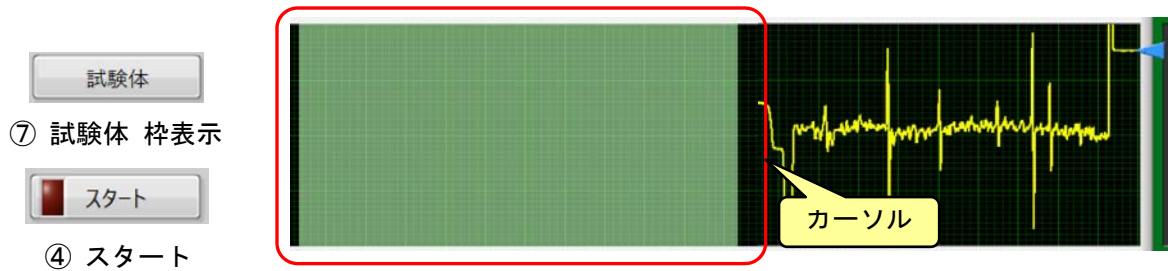


図 3.3 試験体のデータ採取例

図 3.3 は、試験体のデータ採取例を示したものである。

- i) 「⑦ 試験体 枠表示」を押すと記録データ表示部に報告データの枠を示すカーソルが表示され、再度押すと消去される。
- ii) 「④ スタート」を押すと記録が開始され、再度押すと停止する。
なお、最大記録容量は5分であり、5分を経過したデータは消去される。
- iii) 「④ スタート」を押した後、試験体をプローブに挿入し探傷波形を採取する。
探傷終了後、「④ ストップ」を押して記録を止める。

3-3. データ選択と転送

1) 対比試験片



⑤ 対比試験片
枠表示

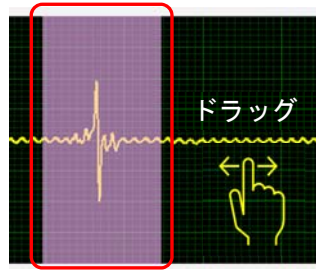


図 3.4 対比試験片のデータ選択

- i) 図 3.4 は、対比試験片のデータ選択例を示したものである。
対比試験片の基準きずのデータを取得後、記録を停止した状態で記録データ画面上を指先でタッチしたまま左右に動かし、最適な記録データ波形を選択し枠内に **ドラッグ** する。



⑥ データ転送

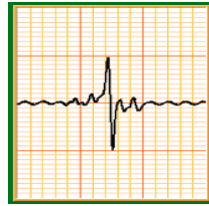


図 3.5 対比試験片のデータ転送

- ii) 図 3.5 は、対比試験片のデータ転送例を示したものである。
対比試験片の最適な記録データ波形を選択後、「⑥ 対比試験片 転送」を押すと、選択した波形が報告データ画面に転送される。
転送した波形を修正する場合は、再度、波形の選択からやり直す。

2) 試験体



⑦ 試験体
枠表示

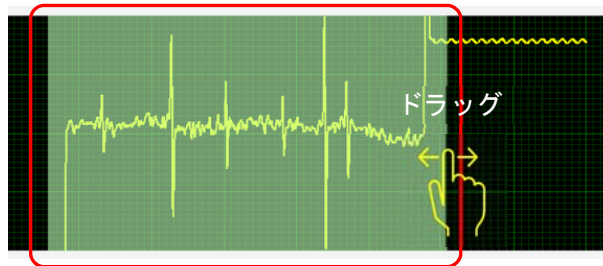


図 3.6 試験体のデータ採取

- i) 図 3.6 は、対比試験片のデータ選択例を示したものである。
試験体のデータを取得後、記録を停止した状態で記録データ画面上を指先でタッチしたまま左右に動かし、最適な記録データ波形を選択し枠内に **ドラッグ** する。



⑧ データ転送

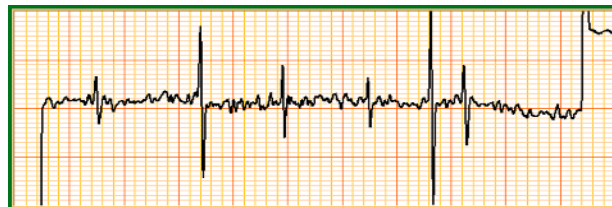


図 3.7 試験体のデータ転送例

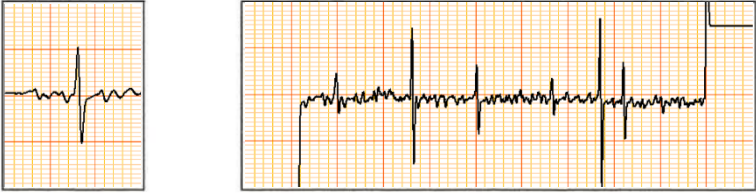
- ii) 図 3.7 は、試験体のデータ転送例を示したものである。
試験体の最適な記録データ波形を選択後、「⑧ 試験体 転送」を押すと、選択した波形が報告データ画面に転送される。
転送した波形を修正する場合は、再度、波形の選択からやり直す。

3-4. 印刷

タイムスタンプ

実施年月日	受験番号	氏名
2022/01/07 15:13	ET	

[4] 探傷記録チャート、きずの分類及び数
対比試験片チャート 試験体チャート



⑨ 印刷

最大振幅を示すきずの基準端からの距離	きずの総数	欠陥の数
mm	個	個

[5] 合否判定 判定結果

[6] 後処理 結果

(一社)日本非破壊検査協会

図 3.8 印刷例

図 3.8 は、データの印刷例を示したものである。

- i) 「⑨ 印刷」を押すと、約 10 秒後に印刷が開始され自動的にタイムスタンプが記録される。
- ii) 印刷されたデータを基にきずの総数など報告事項を記入し、試験報告書にホッチキスで留める。

3-5. 後処理

クリア

⑩ クリア

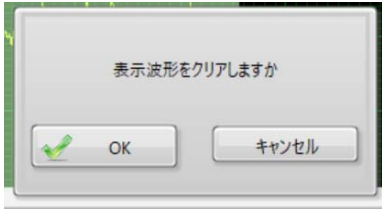


図 3.9 データの消去

印刷終了後、「⑩ クリア」を押すと、画面上に図 3.9 に示す「表示波形をクリアしますか」が表示されるので、「OK」を選択して押すと全てのデータは消去する。